

# あき乃だより

第143号 2024年 10月 発行



今年の夏は猛暑がつづき、残暑も長く、夏の疲れが残っていることと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。コロナやインフルエンザなどの感染症の流行が始まるシーズンでもあります。今月の豆知識は感染症の一つであるRSウイルス感染症をとりあげてみました。せっかくの過ごしやすい時期です。感染症に気をつけて、楽しい秋をお過ごし下さい。

病気や新型コロナウイルス感染のことなど、不安や心配事があればお電話ください。病気を相談できるかかりつけの病院をもちましょう。また、ストレスなどで気持ちが落ち込む時はひとりで悩まず誰かに話をすることも大切です。都や各市に相談窓口、電話番号がございます。

東京いのちの電話 03-3264-4343 (年中無休24時間)

東京多摩いのちの電話 042-327-4343 (10~21時)

<診療時間と担当医のご案内> 休診日：祝日(日曜診療も行っております。)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~ 13:00	七海	奥山 黒澤	奥山 七海	黒澤	奥山 七海	奥山 岸本	第1・3・5 岡田 第2・4 加納
14:00~ 18:00	七海	奥山	奥山 七海	休診	奥山	休診	休診

【ご予約】当院は完全予約制です。まずはお電話でご予約をお取りください。  
(042-580-1255)

【休診・追加診療のお知らせ】

※七海：10/4(金)休診。奥山の1診のみとなります。

※10/6(日)は岡田、加納の2診体制で診療をおこないます。

【お願い】

当院では引き続き、院内でのマスクの着用をご協力お願い申し上げます。

国立駅前あき乃クリニック (診療科目 内科・糖尿病内科)

TEL：042-580-1255 ホームページ <http://www.kunitachi-dm.com>

## 風邪症状の方は必ずお電話でご連絡の上来院お願いします

当院は慢性生活習慣病のクリニックで高齢の方も多いため、感染対策として発熱、咳、咽頭痛等の症状は外来の別枠にて受診いただいております。ご面倒をお掛け致しますが必ずお電話でご予約いただき、かかりつけの患者様対象の別枠の発熱、風邪外来時間に受診いただくか、オンライン診療をご利用くださいますようお願い申し上げます。

## 市の特定健診ご希望の方はお早めに！

国立市・国分寺市・立川市 の市の特定健診を行っております。冬は大変混み合います。予約が取れなくなる場合もございますのでできるだけ早めのご予約をお願い申し上げます。

## 带状疱疹、肺炎球菌、RSワクチンのご予約受付しております

- ・带状疱疹ワクチン：50歳以上の方が対象(市の助成あり)
  - ・肺炎球菌ワクチン：65歳以上の方が対象(市の助成あり)
  - ・RSワクチン：60歳以上の方が対象(自費ワクチン)
- 全て予約制となります。ご希望の方はご予約お願い申し上げます。

## コロナウイルスワクチンについて

10月~3月の期間で、コロナワクチン接種を行います。当院ではファイザーのみお取り扱いしております。お住まいによって市と都の助成がありますので、必ず住民票のご住所を確認できる書類(マイナンバーカード・保険証・免許証など)をお持ちください。お洋服は、肩まで出る半袖のTシャツなどを中に着て、上着を脱いで待機できるようにご協力下さい。

助成あり料金：2,500円(税込)

自費の料金：16,000円(税込)

当院かかりつけではない方の接種については、ホームページをご確認の上お問い合わせお願い申し上げます。

## インフルエンザワクチンについて

当院かかりつけの患者様は、ご希望がございましたらお早めにご予約をお願いいたします。

一般の方のご予約はネット予約にてご予約をお願い申し上げます。

助成あり料金：2500円(税込) 自費料金：4000円(税込)

## コロナウイルスまたはインフルエンザワクチンの助成が受けられる市

国立市・国分寺市・昭島市・清瀬市・小金井市・小平市・狛江市・東村山市・東大和市・武蔵村山市・府中市・立川市



## 意外と知らない まめ知識

### RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。2歳までにほぼ100%の子供が感染するとされていますが、その後も何度も感染と発症を繰り返すため、成人、特に高齢者にも影響を及ぼす可能性があります。喘息、慢性閉塞性肺疾患、心疾患、糖尿病、慢性腎臓病などの基礎疾患がある人や、免疫機能が低下している人は、肺炎を起こすこともあります。日本では毎年60歳以上の成人でRSウイルス感染症によって63,000人の入院と、4,500人の院内死亡が推定されています。

### 感染経路・潜伏期間・症状

RSウイルスは主に接触感染と飛沫感染で広がります。接触感染はRSウイルスに感染している人との直接の接触や、感染者が触れた物品（ドアノブ、椅子、コップ等）を触ったりすることで感染します。飛沫感染は感染している人の咳やくしゃみ、会話などをした際に感染することを言います。



RSウイルスは麻疹や水痘のように空気感染はしないと考えられています。通常感染してから4～5日の潜伏期間を経て、発熱、鼻水などの症状が数日続き、多くの方は数日間で回復します。重くなる場合には、咳がひどくなる、喘鳴がでる、呼吸困難となるなどの症状が出現し、細気管支炎、肺炎へと進展していきます。特に慢性呼吸器疾患などの基礎疾患をお持ちの高齢者の方は、急性の重症肺炎を起こす原因となることが知られています。

### インフルエンザや新型コロナウイルスとの違い

インフルエンザは1～3日の潜伏期間を経て高熱、頭痛、全身倦怠感、関節痛などが現れ、咳、鼻汁などの上気道の症状がこれに続きます。新型コロナウイルスは2～7日の潜伏期間を経て発熱、呼吸器症状、倦怠感、頭痛などの症状があらわれます。一般的に似ている症状が多くみられるため、症状のみの判別は難しいことが多いです。また、RSウイルスは呼吸器に障害を起こす病原体で、肺炎球菌は肺炎の原因となる主な細菌です。

### RSウイルス感染症にかかったら

RSウイルス感染症に対する特定の治療薬はありません。基本的には症状を和らげるための対処療法が行われます。感染力は3～8日持続すると考えられています。高齢者の場合は免疫機能の低下から、より長期間にわたって体内に留まりやすく、咳などで他の人にうつす可能性がありますので、症状のある間は感染を防ぐ対策が大切です。



### RSウイルス感染症に感染しないために

接触感染対策として、日常的に触れる物や手すりなどはこまめに消毒し、流水、石鹸による手洗い、アルコール製剤による手指衛生が重要です。飛沫感染対策として、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある時、周りの方に呼吸器症状がある時はマスクを付けましょう。



### RSウイルスワクチン接種

2024年より60歳以上の方を対象にワクチンの接種が可能となりました。接種回数は1回で筋肉内接種（筋肉注射）となります。当院では31,900円（税込・自費）の予約制となります。ご希望の方は担当医、または受付までお声掛けください。

